

伊東市 富戸地区協議会 WS資料
【1・2・3・4グループ】

開催日 分類	H27.5.12地区協議会 意見	考えられる対応策	H27.11.20地区協議会(今回) 意見
堤防整備 (津波)		・L1の津波高による、住居地区への浸水は無いことが想定されています。	現況5人 必要 レベルIIがくる場合 今のままで良い 今のままで 必要ないと考える。海拔10m地区に住んでいるのでL1に対応できるもの 港の堤防は現況のまま レベル1では堤防は海岸線の堤防6.5m レベル1現況の道上から 現状のままで良い、津波到達迄に高い所へ逃げられる 港・海岸線 港堤防は現状のままで良い。市場についてはH=2~3mの堤防が必要 海岸線に堤防整備H=6.5m 堤防の高さ 港の堤防は現況で別に堤防を作る。堤防の沖へ。波の弱さを少しでも弱める。 港の堤防~現況 横断にレベルIIに耐える堤防を作ってほしい 西町海岸については現況に6.5m以上の堤防が必要である 堤防高さの想定外の津波が来た時、被害が大きくなるのではないかと 堤防は必要ない、場所がない、無駄 堤防は必要ない、避難道路の整備 堤防は必要ない 新しい堤防は不要である、富戸地区のほとんどが高いガケでできている
崖崩れ (避難中の崖崩れ)	山のがけくずれ 富戸公園に避難 土砂崩れがなさそうな順路をさがす 見渡してガケくずれ、倒木等が発生しているか確認をする 富戸漁港は急傾斜の崖に囲まれているので崖くずれが心配 市場から高台に上がる 危険な場所が3ヶ所 高台に行くまでに土砂崩れ箇所が2箇所あるので市場の近くから上がる ガケくずれ 漁協入口の石積みがかずれそう	(県)(市) ・急傾斜地崩壊対策事業の活用 ・土砂災害防止法による区域指定、警戒避難体制の整備	ガケ崩れ 震度7では山が崩れるので山が先 津波だけ考えると県道へ逃げればよいが、がけ崩れが危険である ガケの整備
避難場所	避難する方向がわからない 港から高台に避難する道を判断するに考えてしまう 富戸港から港内に3ヶ所ある階段を上がる 階段が狭い自宅以外のところにいるときの避難方法の不安 外出の際の避難場所 津波で逃げた後、孤立する どこまで逃げればいいのか？ 避難場所まで時間がかかる。 高齢者が多いので避難場所(高台)まで素早く行動できるか？	・漁港より南側の集落は、富戸公園、城ヶ崎高校、対島中。駅側の集落は富戸小が広域避難場所。 ・できるだけ高台(海から離れる)まで逃げる。(絶対はない)	一時的な避難場所の開設→広域避難場所 避難場所 富戸公園に避難した時の緊急用の電話もわかるように 災害発生を早めに 避難場所での対応
避難路	逃げ道がせまい 避難路がふさがれるような岩が落ちてこないか？ また、落ちていないか？ ガケがくずれ 車が不可 避難できないことがある 家が崩れる 通信が不可 がけがくずれ 高いところに逃げようと思うが、がけが崩れているとどこに逃げたらよいか 心配(港の周りがほとんどがけ) 避難ルートが崩れて利用できない 階段が崩れてこないか？ 階段が崩れて使えなくなることがないか？ 避難路が崩れていないか 港内道路際のガケの崩壊が心配 土砂くずれによる通行可か不可か 危険な地域を確認 道路などライフラインの安全確保(避難路含む)は大丈夫か？ 富戸公園へ避難 港~手根道までの道 市場より高台へ避難し、避難場所の富戸公園に行く 広域避難場所の富戸公園までの避難路が大丈夫か？ ①富戸方には行かない ②富戸公園に行く 富戸港の階段が構造上大丈夫か？ 自宅へもどる道路はどうなっているか？心配です。 どの道が安全か？ 横断の方は危ないと思うので高台に逃げるが、家とは逆方向になるので後々のことが心配となる。	・自主防災会ごとに津波避難行動計画の作成をお願いします。 ・今年度中に、津波ハザードマップを配布する予定です。避難場所までの避難経路について、自身でシミュレーションしておくことが重要です。 ・広い道にできるだけ早くでる。(安全を確保した上で) ・大地震が発生した後しばらくは余震が続くことが予想されますので、余震によるブロック塀等の倒壊にも注意が必要です。 ・海岸線の県道は危険なので避難路としない。	西町(10戸) 避難用階段 西町付近の県道を今よりも盛土した構造にしてみたい +3m 3分で逃げられる範囲(防災訓練) シェルターを設置する(西町に) 各避難場所に行くための誘導灯設置 照明をソーラーにする 避難路マップ 安全度のレベルで色分け等 県道がH≒14~15mであるので西町の海岸の人は県道へ逃げる 避難路の安全対策 堤防よりも安全な避難路が必要である 避難する方向がわかるようにする 避難路の表示
来訪者・観光客の避難誘導	来訪者の避難誘導が必要 誘導責任者を決める 営業中、来客者の避難誘導 観光客の誘導 避難ルート表示がほしい 避難所への行き方(どこに避難所があるのか) 客に外に出よう声をかける 港内の道路幅が狭いため観光客等多数滞滞しているときは避難に時間がかかる ダイビングをしていた場合、気がつくのか つり人がいたら 夏季の海水浴客の危険(ボラ納屋、伊豆海洋公園) ダイバー、観光客に対する誘導 釣り人やダイビングをしている人は大丈夫か？ スキューバダイビング、ボラ納屋の利用客が危険 塾経営で子供を預かっているの、それが一番です。	・津波警報等が発令されたときは、同報無線により即座に避難に関する情報を流します。 ・保育園、幼稚園、コミセンが避難所	観光客等にわかるような表示
車で逃げない	車は使用できないと思うので高いところへ逃げる(歩いて) 道が車でふさがれる	・乗り捨てた車両により、消防車等の緊急車両が通れなくなります。原則、徒歩で避難してください。	緊急車両がいつでも通れる道路
災害弱者(要介護者の対応)	まわりの人が面倒みれるか 弱者への対応 富戸公園方向の高台に避難するにあたり、周囲の人に高齢者等を周知する方法が心配 早い避難のため早急な対応の中でのことであり、危険であり、心配である。 足の悪い人は大丈夫か？ 逃げ道が階段なので足の悪い人は、逃げるのが大変である。	・高齢者や障害者については、あらかじめ災害時要援護者避難支援計画(個別計画)を作成しておく必要があります。(社会福祉課で作成中)	
家族が心配(安否確認)	高い所へただ逃げる家族のことは考えられない？ 階段使用の場合、お年よりは大丈夫か？ 家族のことが心配であり、自分一人で逃げるが塗方にくれる。 家族が心配 家族との連絡	・家族、ご近所等で、あらかじめ地震発生時の行動を話し合っておくことが重要です。 ・安否情報は「災害用伝言ダイヤル171」を活用してください。	
建物被害	火災 ガラス等の落下物		
夜間対応	夜間の場合		
海拔教示	海拔表示を増やす。	・検討します。	
不安	足がすくんでしまう	・地震体験車などによる経験をする機会があれば、ぜひ経験してみてください。	夜間の場合の照明